

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3570201172		
法人名	医療法人 博愛会		
事業所名	グループホーム らくや		
所在地	山口県宇部市浜町2丁目1-3		
自己評価作成日	平成22年6月15日	評価結果市町受理日	平成22年10月29日

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度ホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	http://kaigosip.pref.yamaguchi.lg.jp/kaigosip/Top.do
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 やまぐち介護サービス評価調査ネットワーク		
所在地	山口県山口市吉敷下東3丁目1番1号 山口県総合保健会館内		
訪問調査日	平成22年7月16日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

法人理念・方針を基盤として“お互い助け合っていつも笑顔で楽しい我が家”をらくやの理念として、ご利用者お一人毎の人となりを知り、その人らしさを追求した生活作りに取り組んでいます。らくやの周りには、季節毎の植栽、昔ながらの和風家屋、お一人毎の生活を楽しくして頂ける居室環境を整えお気持ちを尊重し、その方らしい時の流れを守り安心して穏やかな生活を送って頂くようお手伝いを心がけています。ご入居者はもちろん、ご家族・ご友人にも、いつもいたい家、一緒に過ごしたい家族として又、地域の方にも立ち寄りたくなる隣家として心のよりどころにして頂ける事を目指しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

“お互いに助け合っていつも笑顔で楽しい我が家”という理念の実践のひとつとして、三度の食事を事業所で調理することを大切に考えておられます。利用者と一緒に献立づくりをし、買い物にも利用者が行き、その日の食材に合わせてや利用者の好みによって献立を変更されたり、季節感や行事などに合わせた食事で利用者にとって楽しみなものになるよう支援されています。職員と利用者は、調理や盛り付け、片付けなどできることを一緒にして、同じ食事をしながら談笑しゆっくりと食後も過ごしておられます。利用者がこれまで住んでおられた近所の方の来訪や、手紙や電話のやりとりがあり、地元の敬老会への参加や馴染みの美容院の利用、自宅周辺へのドライブなど利用者の馴染みの人や場との関係が途切れないように支援に努めておられます。

・サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに 印	項目		取り組みの成果 該当するものに 印
57	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	64	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
58	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	65	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
59	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
60	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員は、活き活きと働けている	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	69	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
63	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない			

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	(1)	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	法人全体の理念・方針をもとに開居時職員でホームの理念を作り、ミーティング時や1日1回勤務者で唱和をし、それに基づいたサービス提供に取り組むよう努めています。	理念を玄関に掲示し、ミーティング時や1日1回職員で唱和し、ケアサービスを提供する上での拠り所として実践している。	
2	(2)	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に加入しています。自治会の行事にお誘い頂いたり、散歩道上、ご近所の方とお話したり、行きつけの商店の方とも良いお付き合いをして頂いています。又、ご自宅近くの地域の方々やご友人の訪問等、継続的な交流への働きかけを行っています。	地域の住民とは散歩や買い物時に挨拶をしたり、花を頂くなど日常的に交流をしている。法人の餅つき、夏祭りには地域の住民の参加があり、小学校の運動会や敬老会に参加したり実習生やボランティア(音楽、踊りなど)を受け入れるなど多くの人と交流している。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	ご入居者への支援を基盤にして、受診先での待ち時間に地域の高齢者の方々も安心して待たれるよう、共に過ごしたり、買い物や外出先で困っておられる方のお手伝いをさせて頂く等、ご利用者とともに少しでも役に立てる場面をと考えています。	/	
4	(3)	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。	回を重ねる毎に評価の意義・重要性を職員が理解向上しており、これまでに記録業務や居室担当の体制・業務時間の変更等、ホームの生活の質の確保・向上を図る事を目的として検討をし取り組んでいます。	職員は評価の意義を理解しており、リーダーで話し合い管理者がまとめている。管理者、職員で業務の見直しなど具体的に検討しサービスの質の向上に取り組んでいる。	/
5	(4)	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	地域の方々との連携を深め、ご入居者の生活の質の確保を目指し開催しています。参加者も増え多面的なご意見を頂き、活気のある意見交換の場として定着してきています。事故発生時のフローチャート、内服管理マニュアルでは、ご意見から討議を行い見直しを行なっています。	2ヶ月に1回開催している。自治会長、家族、消防署職員など毎回15人程度の参加があり、外部評価報告、行事報告、各種委員会活動の説明などを行い家族を含め活発に意見交換をし、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	
6	(5)	市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	ホームの運営上の問題、その他、色々な相談等、常に快く受け入れて頂き、助言、指導を頂いています。	介護保険課、高齢福祉課、地域包括支援センターと相談、助言等で協力関係を築くよう取り組んでいる。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
7	(6)	身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	委員会活動・研修で全職員、知識を高めており、特に自らの言葉・行動・態度に留意する様、意識統一を図っています。鍵をかける事で発生するリスクを理解し、見守り体制や外出時、さりげなく付き添う等の対応に心がけ、施錠はしていません。やむを得ない場合は状況・経過等記録に残し検討する体制は整えています。	身体拘束マニュアルを作成しており、法人の委員会活動で研修会を開催し意識統一を図っている。玄関の施錠リスクについても理解し見守りを充実し、さりげなく一緒にでかけるなどの取り組みをしている。	
8		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	身体拘束廃止委員会での活動や研修を通して職員個々が虐待防止についての知識を深めるよう努めています。特に心理的虐待については、日常から注意したいと考えています。		
9		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	現在、利用されている方もおられ担当者の方との連携も図れています。虐待防止の観点からも知識を深め、必要性のある方へは情報提供も含め支援をと考えています。		
10		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	利用希望時は、見学を勧め、ホームの説明やご入居者へ配慮をしながら雰囲気を感じてもらい、又、質問等も受けながら、判断頂くよう努めています。契約に際しても丁寧な説明に心がけ円滑な生活支援につなげています。		
11	(7)	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等からの相談、苦情の受付体制や処理手続きを定め周知するとともに、意見や要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご契約時の重要事項説明書、玄関先にて窓口・公的窓口紹介・第三者委員を明示しています。介護相談員の協力、運営推進会議・ご意見箱等で気軽にご意見を伺える環境をと考えています。頂いたご意見に関してはマニュアルにそって、検討をし、解答するよう努めています。	相談、苦情の受付体制、処理手順を明示すると共に利用者、家族に説明している。運営推進会議に参加の家族や来訪時に意見や要望を聞き、それらを運営に反映させるように努めている。	
12	(8)	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ホーム内でのミーティング・小委員会活動・提案箱の設置にて職員が意見を出せる機会を設けています。又、希望があれば、個別に話せる機会作りにも努めています。	提案箱やミーティング時に出された提案事項は理事長に届くシステムとなっている。職員体制についての提案で職員が増員される等職員の意見も反映されている。職員の個人的な相談は管理者が聞き事務長へ伝えるようになっている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>運営者は、職員の健康・精神的負担を理解しており、できる限り、負担軽減になるよう運営の検討に努めています。又、資格取得等、自己研鑽に理解をし、各自の向上心の継続を図れるよう努めています。</p>		
14	(9)	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>入職後、ご入居者との関係づくりに重点をおき、段階に応じた、業務の仕方や新人研修、その他研修も多く行えています。外部研修参加後は、他の職員へ伝達講習を行い、共に知識向上につながるよう心がけ、資格取得についても意識をもち行われています。</p>	<p>外部研修は業務の一環として段階的に参加し、法人の学会発表、法人の研修、事業所独自の研修、資格取得も奨励され働きながらのトレーニングなど職員を育てる取り組みをしている。</p>	
15		<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>全国GH協会・県のGH連絡会へ入会しており部会研修等への参加を通し、交流する機会にも恵まれている状況であると考えます。</p>		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
16		<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>ご相談時より、ご本人・ご家族からしっかりとお話を伺わせて頂き、ご入居まで気軽に立ち寄っていただいたり必要に応じ、他職種の方との連携を図っています。</p>		
17		<p>初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>初めて来居される時には、色々な思いが入り混じり不安等抱え込まれている事を十分理解し傾聴、受容を通し、気持ちを癒して頂けるよう努めています。</p>		
18		<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>ご相談の時点より、内容を十分に理解し、その都度必要に応じて他サービス担当への相談や利用を含め安心感も提供できる支援を心がけています。</p>		

グループホーム らくや

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	家事や慣習などを中心に教えて頂いたり手伝って頂き、常にその事に感謝し、共に生活をする者としての関係を築いています。		
20		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	来居時や通信により、できる限り、お声かけをし近況を報告したり、相談させて頂く事を継続してきた中でご家族に助けて頂き、共に支え合える場面は増え、時に家庭的な関係でご本人含めお付き合いさせて頂いています。		
21	(10)	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの方の来訪や電話はご本人さまの居室でゆっくりできるように、又、お手紙のやりとりも継続できるよう、お声かけしたりし支援に努めています。	利用者がこれまで住んでいた近所の方の来訪や電話、手紙のやり取りがあったり、また、美容院に出向いたり、地域の敬老会への参加や、自宅周辺のドライブなどを支援し馴染みの人や場との関係を継続することに努めている。	
22	1F	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	共同生活の中でも、各々の個性を尊重し、利用者全員が良い関係を保てるよう、場の雰囲気作りに努めたり、必要に応じて、自然な形で係わりを心がけています。		
22	2F	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	日頃より、入居者さま同士の間関係を把握し散歩や外出など和やかにできるようにし、孤立しないように仲介し楽しい雰囲気を作れるよう配慮しています。		
23	1F	関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	機会ある毎に近況を伺ったり、相談に応じたり、ホームが利用者やご家族にとって馴染みの場所として、気軽に行き来できるような関わりを持ち続けています。		
23	2F	関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	季節毎の挨拶・訪問し合う・相談や紹介等ホームを馴染みの場所として、お付き合いいただけています。又、それが、地域との関わりを深める事に繋がっていると思います。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
24	(11) 1F	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	お一人毎の生活のペースを崩さないよう、思いや意向を汲み取り、表情や態度からその時々に応じた工夫を心がけています。	日々のかかわりの中で、言葉や表情で把握したことを生活記録に記述して把握するとともに、家族や本人から得た情報をセンター方式のシートに記述するなど希望・意向の把握に努めている	
24	(11) 2F	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	できるだけ、ご本人さまの意向に添えるようにしています。意思表示が少なかったり、困難な場合も、会話の中やご家族さまからの情報などから、把握・検討を行っています。		
25	1F	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	今までの生活歴や生活環境等、個人情報の取り扱いに留意した上で、身近な方からの情報を収集し、状況把握に努めています。		
25	2F	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	居室担当を中心にセンター方式でアセスメントし、ご本人さまの情報を共有し、把握に努めています。		
26	1F	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	お一人毎のその日の心身の状態を残存能力と照らし合わせながら、健康チェック・ケアプランの実践・援助内容等を記録に残し生活の質の向上につながるようケアの内容を検討しています。		
26	2F	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	生活記録や健康管理記録を中心に、お一人おひとりの日々の状態の把握に努めています。又、重要な事は、口頭でも申し送りをするようにしています。		

グループホーム らくや

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
27	(12)	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	センター方式をアセスメントシートとして活用し、ご本人の担当職員を中心に作成後、関係者と話し合い、介護計画を作成しています。	家族、関係者と話し合ったり、職員と意見交換をして月1回カンファレンスをしている。6ヵ月毎の見直しを行い、現状に即した介護計画を作成している。	
28	1F	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別の記録はご本人の状態・対応方法・アセスメントも含め記載しており、情報は常に共有できていると考えます。介護計画の見直しの他、常に記録を活かせるよう努めています。		
28	2F	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	SOAP形式による経過記録を行い情報の共有をしています。また、それを参考に必要に応じて介護計画の見直しを行い、記録をケアに活かせるよう努めています。		
29		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人やご家族の状況に応じ、医療連携や受診同伴、入院時には早期退院にむけての取り組み、ご希望に応じ、買物・外出・支援等、柔軟な対応ができるよう心がけています。		
30		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	警察・消防には定期的に訪問頂き、ホームの状況を報告させて頂いています。ボランティアや教育機関等との交流も、ご入居の方の状況を把握検討を行いながら、協力を頂いています。		
31	(13)	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	歯科診療も含め、ご本人・ご家族の意向で医療機関は決めていただいています。相談しやすい関係を大切に心がけ、体調変化時は、早期の対応に気にかけて頂く等、良好な関係は築けていると考えます。	本人、家族が希望するかかりつけ医となっている。半年に1回は事業所として家族と受診に同行し、受診結果等の情報を共有し、適切な医療を受けられるよう支援している。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		<p>看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>医療連携による訪看との連携をはじめ、母体施設、受診先医療機関の看護職との関係は良好で、ご入居者に合った対応、指導、助言を頂きながら、ホームでの支援に繋がっています。</p>		
33		<p>入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>ご利用者の入院に際しては、期間限定でホームへの復帰可能システムがあり、主治医・ご本人・ご家族と検討の上、対応しています。入院時、介護添書による情報提供、入院中の関わりも継続し病院関係者とも頻繁に連携するよう努めています。</p>		
34	(14)	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化及び看取りに関する指針を定め、ご利用時より、意向を確認させて頂いています。できる限り穏やかで安楽な生活を送って頂けるよう、環境整備・予測できる事等含め、その時毎の状況をご家族・主治医・看護と検討・連携・協力を得ながら行います。</p>	<p>重度化及び看取りに関する指針を作成し、本人及び家族には事業所で出来ることを説明しており、重度化した場合は段階に応じて本人、家族、主治医、訪問看護師、関係者等と話し合いをしながらチームで支援に取り組んでいる。</p>	
35	(15)	<p>事故防止の取り組みや事故発生時の備え 転倒、誤薬、行方不明等を防ぐため、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組むとともに、急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身につけている。</p>	<p>マニュアル・フローチャートの活用や定期的な研修を通し、意識向上に努めています。発生した事項は報告書を残し、委員会活動を通し、他職種からの助言も含め分析・改善策を検討し実践に活かしています。救急蘇生の訓練も年2回実施し、迅速な対応が出来るよう技術向上に努めています。</p>	<p>ヒヤリはっと・事故報告書を基にリスクマネジメント委員会で検討をし対策についても職員間で共有している。年2回消防署の指導と医師、看護師による指導で救急蘇生法(AED使用、心臓マッサージ、応急処置等)の訓練をして実践に備えている。</p>	
36	(16)	<p>災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回の訓練の実施、又、防火に対しての意識を高める為に独自の自己点検シートを今年度より取り組んでいます。台風等予測できる災害は臨時会議にて、法人全体で検討を行っています。地区に消防隊もあり、協力をお願いは行なっています。</p>	<p>風水害マニュアルを作成し、年2回避難、消火、通報訓練(夜間想定を含む)を利用者と一緒に実施している。また、防火予防の取り組みとして、自己点検シートを使用して、コンセント、配線劣化、ガス給湯器等の積極的な点検を実施している。</p>	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
37	(17) 1F	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個人情報の取り扱いの知識を持ち誓約書、接遇トレーニングや虐待防止の研修を通し意識の強化に努め、ご入居者のプライバシーを保護し、プライドを保持して頂ける対応を心がけています。	接遇トレーニングを毎日実施し、利用者のその人らしい尊厳を大切に取組んでいる。言葉の内容や語調などが、プライバシーを損ねるものになっていないか管理者が指導している。	
37	(17) 2F	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	常に利用者さまは、人生の先輩である事を念頭におき個人の尊厳を大切に、プライドを持って生活して頂けるよう支援しています。プライバシーの保護や個人情報の取扱いは、職員各自が契約書にサインし、接遇トレーニング等で再確認できています。		
38	1F	利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人が表現しやすい環境作りや、ご本人の状況に合わせた話し方・対応に努めています。ご本人が安心して話して頂ける関係を築き自己決定に繋がるよう支援に努めています。		
38	2F	利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	個別又は、集団で、ご本人の思いや希望をお聞きできるよう会話を少しでも多く持つようにしています。		
39	1F	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご本人の意向に応じた生活ベースを築き、ご希望等に対応できるよう、その日の職員の業務体制、内容を変更するよう心がけています。		
39	2F	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者さまの日々の心身の状況を把握し、入居者さまのペースに合わせた支援を行っています。必要に応じ、職員の勤務調整も行っていきます。		
40	1F	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご本人の希望を伺いながら季節や外出先等その場に応じた身だしなみができるよう支援しています。理美容室のご使用の際は、ご本人やご家族の意向により対応しています。		
40	2F	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご本人さまのご希望や、ご家族さまからの情報などから、その人らしさが継続できるように支援しています。(化粧品・服装・ヒゲ剃りなど)		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
41	(18) 1F	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	季節感・行事・風習等に添った献立を考え副食の種類を増やし、お一人毎の好みにも合うよう工夫をしています。買物・調理は、一場面でも参加頂ける工夫をし、食事時の環境も含め心地よい時間となるようサポートを行っています。	献立は利用者と職員で作成し、三食とも事業所で調理している。利用者と買い物に行き、食材に合わせたり、時には利用者の好みによって献立を変更することもある。参加できる利用者は、調理、片づけ、盛り付けなど一緒に行い、職員も同じ物を食べ、おしゃべりしながら、食事が楽しめるように支援している。食のすすまない利用者によっては好みの漬物でお茶漬けを勧めてみるなど、利用者一人ひとりに合わせた支援をしている。	
41	(18) 2F	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	お一人おひとりの状態に応じ、お手伝いをして頂いたり、料理を教えて頂いたりしています。また、一緒に買い物に出かけ、お好きな物や食べたい物などを話しながら献立を決めています。		
42	 1F	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	献立・使用食材は、記録をしています。個別の状況に合わせ、献立の変更・補食・食事形態を検討し提供、記録をしています。飲み物の種類も豊富にそれえ、一日の水分摂取量も必要に応じ記録をしています。		
42	 2F	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	健康管理記録表により食事量や水分量を把握できるようにしています。いろいろな種類の飲み物やゼリーなどで、なるべく水分を摂れるようにしたり、ご本人の嗜好や状態に合わせた食事提供をしています。		
43	 1F	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	各居室の洗面所、共有の洗面台は高さ調節で身体状況に合わせやすい設備を整えています。口腔ケアや用具の管理は個別の状態を見極めそれに応じてできる力を損なわない支援となる様心がけています。		
43	 2F	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	お一人おひとりの状態を把握し、必要に応じて、適切な支援を行っています。(声掛け、見守り、一部介助・全介助など、お一人おひとりに合った支援)		

グループホーム らくや

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
44	(19) 1F	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	おむつ・パットについては多種類を準備し、時間・量・皮膚への状態を考慮し使い分け、必要な方へは排泄パターンを把握、誘導を尊厳保持に留意の上、排泄・自立に向け支援しています。	排泄チェック表に記入することで排泄パターンを把握し、一人ひとりに合わせた誘導を工夫したり、トイレにも手すり、背もたれ、台などをつけ、利用者が楽に排泄できるよう工夫するなど、排泄の自立に向けた支援に取り組んでいる。	
44	(19) 2F	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	職員は、お一人毎のパターンやサインをチェック表や記録などで共有把握しており、それに添った援助を行なっています。又、直接の声掛けは避け、汚物処理も他者の目に触れない様配慮する等、ご本人のプライドを大切に、さりげなく行なう様努めています。		
45	1F	便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分摂取量の把握・食事の工夫(食物繊維・オリゴ糖の利用)散歩等の運動、腹部マッサージ等、薬に頼らない支援を心がけてます。必要に応じ排泄表の活用で把握に努めてます。		
45	2F	便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	職員は、お一人おひとりの排便の状況を、記録などで把握しています。排便をうながす食事の提供、散歩などの運動の声掛けや水分補給の徹底をし、予防に努めています。		
46	(20) 1F	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	時間、回数等は定めず、ご希望に添って健康面を把握し入浴頂いています。状態に応じ必要なお手伝いを、その方にあった声掛け、方法等配慮をし楽しめるよう心がけています。	希望があれば毎日入浴できるように、時間も希望に合わせて対応するようにしている。入浴を嫌がる場合には職員と一緒に入浴するなど、工夫して楽しく入浴できるよう支援している。	
46	(20) 2F	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	お一人おひとりのご希望をお聞きしながら又、お湯の温度や石鹸などの好みなども把握し、ゆったりと楽しんで入浴できるように支援しています。		

グループホーム らくや

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
47	1F	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	記録等で日頃の状態を把握し、お一人毎の基本的な日常生活のリズムを崩さない様留意しています。又、日々の身体状況を考慮した上で、適宜、休息・安眠に努めています。		
47	2F	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	お一人毎の睡眠パターンを把握し、体調を崩されないよう、留意しながら、日中の過ごし方の工夫をしています。又、眠れない原因を把握する様努め、その時の過ごし方も、ご本人にとって苦痛にならない配慮をしています。		
48		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個人記録に処方の説明書をファイルし、内容を理解し支援しています。服薬マニュアルを作成し、内服確認も実施者サインにて記録に残す事、服薬に関する事故防止にも努めています。必要時には、主治医へ状況報告、相談を行い、その方にとって最適な与薬となるよう心がけてます。		
49	(21)	活躍できる場面づくり、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	生活歴を踏まえ状態を考慮し、お一人毎の楽しみや生き生きとした表現を引き出すよう努め、自然にできた役割分担を尊重し出来る力を見極め、さりげない対応を心がけています。して頂いた事には感謝を伝え、助け合える喜びを感じて頂ければと考えています。	調理、洗濯物たたみ、園芸、音楽療法、歩行訓練、本読み、新聞読み、テレビ観賞など、利用者一人ひとりが活躍できる場面づくり、楽しみごとの支援をしている。	
50	(22)	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	散歩、買物、寺社への参拝、ドライブ、季節毎の外出・行事をグループや個別に企画実施しています。その際に、ティータイムや外食を楽しんで頂いています。	毎日の散歩、買い物、神社の参拝、季節ごとの花見、ドライブ、喫茶店に行く、外食に出かけるなど、車椅子での外出は職員体制を変更して外出の支援をしている。	
51		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご本人・ご家族と相談しながら、その方に合った支援となるよう検討させて頂いてます。必要に応じ、お預かりする方への管理については、お預かり金対応マニュアルにそって、職員2名で確認する等、事故のないよう努めています。		

グループホーム らくや

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
52		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	お電話のやりとりは、ホームの電話の子機を利用し居室でゆっくりお話して頂いています。ご希望があれば、お手紙の差し出しをしたり、季節のお手紙の声掛けをしたりしています。		
53	(23)	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	台所・リビングを中心に入居者さまの居室があり台所からの匂いや音を感じる事ができます。季節毎の生花や飾り物、冬期のこたつや檜風呂・居室の窓の障子など、さりげなく五感に働きかけるよう工夫がしており、又、居心地よく過ごせるよう配慮しています。各居室・共有スペースの温度・明るさは適宜調節を行っています。	窓は大きく明るく、リビングと台所は一体になっている。利用者は畳の間にゆっくり座り机にもたれたり、ソファに座ってゆったりと過ごしている。季節の花や飾り物、檜の風呂、高い天井、広い廊下など生活感、季節感を採り入れ落ち着いた共用空間となっている。	
54		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	玄関には、ベンチを配置してあります。居間には、こたつとソファが用意しており、お一人毎の好まれる場所が出来ており、思い思いに過ごされています。		
55	(24)	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室毎に入口の戸のデザインや照明器具などの備品が変えてあり、お一人毎の生活空間作りが楽しめる工夫をしています。自宅で使っておられた馴染みの家具などを持ち込まれ個性豊かで、ご本人が一番心地よく過ごせる居場所となっています。	人形、文具、植物、暖簾、化粧品等の好みの物や、テレビ、タンス、鏡台、机、使い慣れたものなどを活かして、居心地よく過ごせるように工夫している。	
56		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ホーム内バリアフリーで滑りにくい床材・手摺の設置・浴室の工夫・3サイズの食卓セット等、安全面に配慮し、アクティビティーで無理の無い機能回復・維持に努めています。必要に応じ個別での対応も行なっています。		

2. 目標達成計画

事業所名 グループホームらくや

作成日：平成 22年 10月 27日

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	27	チームでつくる介護計画とモニタリング 介護計画の作成・見直しは定期的に行えているがモニタリングが確認しづらく、解りにくい為、見直し時に時間を要する。	モニタリング内容が簡潔に確認でき、ケアプランがご利用者にとって更に充実したものになっている。	・モニタリング書式の作成 ・記録用紙・方法の見直し	6ヶ月
2	14	職員を育てる取り組み 新人研修について、ご利用者との関係作りに重点をおき、段階に応じ業務を取得できるよう努めているがその過程、状況が確認しづらい。	職員の状況を把握し、安全・安心した気持ちで、らくやのスタッフとして就業できる。	・日毎、所得したケア内容の不確かな所、疑問等、自己振り返りできる書式の作成 ・就業前、就業後の指導者との振り返り	8ヶ月
3					
4					
5					

注1)項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2)項目数が足りない場合は、行を追加すること。